

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 30 日

事務事業名: 粗大ごみ処理処分事業. 事業区分: 新規/継続, 継続. 事務事業No.: 041002000219. 担当: 030301. 所属課: 環境対策課. 政策体系: 総合計画の施策名 O410 廃棄物の抑制と適切な処理. 政策名 O4 快適で潤いのある生活環境づくり. 施策名 10 廃棄物の抑制と適切な処理. 基本事業名 O2 分別収集と適正な処理. 財務会計上の位置付け: 事業期間. 予算科目: 01 04 02 01 01 00. 一般会計: 清掃総務事業. 法令根拠: 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像). 【事務事業の内容】粗大ごみの処分を市内の全世帯を対象に2回/年(春・秋)実施. 対象品目: 家庭の粗大ごみ. 禁止品目: 可燃・不燃・資源ごみ収集品目、搬入禁止品目品(特定家電製品、大型農機具、消化器、ガスボンベ、畳、塗料や農薬等が入っている容器、農業及び園芸用ビニール(育苗箱や畦シート等)). 【事業費の内訳】委託費. ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. 【担当者が行う業務の手順】準備: (委託契約・実施に際しての協議). 実施: 会場(岩瀬じん芥処理場)において、搬入品の分別確認及び、数量・重量の確認. 処理: 搬入されたごみ類の分別作業、処理、集計.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容). ④活動指標 (活動量を表す指標). ②対象 (誰、何を対象にしているのか). ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標). ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか). ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標).

(3) 投入量 (事業費) の推移

26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標), 期間限定総投入量. 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B).

27年度事業費実績(千円), 28年度事業費予算(千円). 11 需用費, 13 委託料. 合計 6,412, 合計 7,941.

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. 主要事業: 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	粗大ごみ処理処分事業	事務事業No.	41002000219	所属課	環境対策課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成元年頃、家庭内にある粗大ごみの処分に困っていた住民の要望に応じて実施した。合併前の3町村でそれぞれ実施してきた経緯もあり合併協議会で継続して実施することに決定した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事業系の粗大ごみや搬入禁止品を処分を要望する住民が多い
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 一般のごみ収集で出せない粗大ごみを収集することにより、適正に処分でき再資源化されることは、不法投棄の可能性を減じるため結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 粗大ごみを市民が自らごみ処理施設(筑西市にある環境センター)へ持ち込んでも処理費がかかるうえ運搬距離も長い。岩瀬じん芥処理場で実施すると資源物を売却(リサイクル)できるうえ運搬距離も短いので市及び市民にとって有益である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 小型家電リサイクルや剪定枝などを追加し、リサイクルや野焼き防止などにも寄与している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 不法投棄及び野外焼却の増加が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 有償で取り扱っていた小型家電が、今後逆有償となりつつあるため、削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全世帯を対象とし、無料で回収しているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 住民要望が高い事業であり、開催期間は多くの来場者が見込まれる。本年度から、野焼き防止の観点から庭木の剪定枝の回収を行っている。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 マナーの悪い市民がいるため、渋滞の原因となっている。 チラシなどを改善する必要がある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---